

## 教科目名 コンピュータ基礎 (Foundation of Computer)

学科名・学年 : 情報工学科 1 年

単位数など : 必修 1 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 野中尋史

授業の概要			
コンピュータの基本原理は、情報処理技術者として必要不可欠な知識である。本講義では、動作原理から基本構成について学習を行った上で、電子計算機の動作と密接な関わりを持つ 2 進数・デジタル情報・論理演算の基礎についても演習を行う。			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (B2)
(1) コンピュータの種類と構成について理解する。(定期試験と課題)			
(2) 2 進数と各種デジタル情報について理解する。(定期試験と課題)			
(3) 論理演算の基礎を理解する。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1-2 3-4 5 6 7	コンピュータの歴史と概要 2 進数, 情報とデータ コンピュータの種類 コンピュータの構成と動作 記号と演算	○コンピュータの種類をはじめとする概要を理解する。 ○コンピュータの構成と動作を理解する。 ○2 進数とデジタル情報の扱いについて理解する。	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10   12 13 14	前期中間試験の解答と解説 論理演算  ハードウェア概論(中央処理装置, 記憶装置) ソフトウェア概論(OS, プログラミング言語)	○論理演算の基礎について理解する。 ○ハードウェア, ソフトウェアの概略について理解する。	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	情報処理技術者として最低限必要な内容について、広範囲に渡って学習するので、目的意識を持って自学自習すること。わからない点は質問すること。		【総合達成度】
教科書	志村正直著, コンピュータシステム (コロナ社)		
参考図書	情報処理教科書 応用情報技術者 2014 年版(翔泳社)など		
自学上の注意	受講と並行し各種情報処理技術試験を受験することを強く薦める。		
関連科目	通信プロトコル, 情報理論		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について、2 回の定期試験と課題点で総合評価する。 総合評価 = (2 回の定期試験の平均) × 0.7 + (課題の点数) × 0.3 総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は原則実施しない。また、受講態度等により総合評価からその 2 割を限度として減点することがある。		【総合評価】 点